



おかむら通信第 89 号

平成 24 年 9 月

皆様、とても暑かったですね、この 89 号が出る頃は少しは過ごしやすい季節になっていると良いですね。さて今月号は、「当院の設備について」とイタリアでの経験」主となります。

設備、厚かましくも当院がどうしても自慢したいものを 提示いたします。

(診療方針については、のちの 通信にて 述べさせていただきます。)

① P A C S: Picture Archiving Communications System が皆様の病気の治療にとっても有効です。ぜひ見に来て確かめてください。詳しく以下に述べています。

② 当院の医療設備の違い おもなるもの、

* 高性能全身マルチスライス CT

* 乳がん診断用エラストグラフィー

* 半導体レーザー治療器

* 頸動脈カラードップラー

* 骨塩定量即時診断

** PACS (英国国立病院が導入しているデジタル画像診断システム)

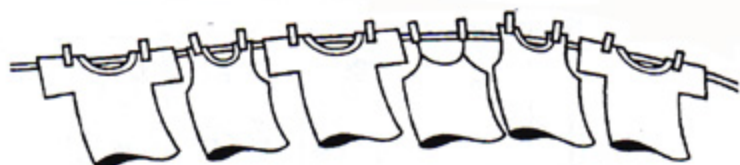
各検査すべての画像(内視鏡、XP 透視、胃・大腸・整形外科的検査、肺がん検診、骨塩定量、デジタルエコー、頸動脈ドップラー、乳腺エラストグラフィー、MSCT 画像、心電図解析など)を診察室に集中させ瞬時にみることができ、患者さんの素早い診断と確かな治療に寄与します。

最近の院長が考えていること

① 限りなく早い診断とは、

いまのところ、診察室でのスピードと、導入している SPO2 経皮的酸素飽和度測定、PACS を利用した骨密度測定、もちろん PACS を利用した上記検査機器すべてですが、院長の精神的、当院の経済的負担にはなりますが、体力が続く限り頑張ります。

② 患者さんに、「目にみえない、感ずることのない病気の存在」をご理解ください。院長の経験から、厳然と見えていることとお話ししても皆様にわかりにくいことがあると思います。したがって皆様はキョトンとしています。先読み先読み、と言ひ病気の早期発見にこだわり、患者さまの幸せに貢献する、当診療所に来てよかったとだけ思っただけにこだわっているのですが。





- ③ 夏から、秋に変わるとき、結構急に気候が変化することが多いので、十二分な水分・塩分摂取は、暑い時より少なくするよう、元に戻してください。高血圧、腎機能低下の方、脳梗塞など血管系の疾患を持たれている方へ。

8月の院長の活動紹介

8/01 (水) 千葉大学・県行政と「千葉県医療連携の会」

IT ネットほぼ完成へ、

夕方 千葉大学病院にて

/02 (木) 千葉県医師会代議員会

午後 千葉県医師会会館にて

/08 (水) 松戸市夜間小児急病センター 勤務

夜 松戸市立病院にて

/13 (月) ~ /20 (月) まで

「イタリア フィレンツェから シエナへ」

13/ フィレンツェ ブルネシ・ロータリークラブ

約70人会員の由緒あるクラブ。フィレンツェ大学教授 芸術家 大企業技術者 内分泌学専門医師かつ教授 内科医 女性幹事にお世話になりました。ものすごい親切、親しみやすさ、上からの目線のないどことなく日本的な家族感がにじみ出ていました。

14/ 聖マリア・ノバ病院、あらゆる美術館、教会、修道院など、

15/ イタリアのかつて栄えていた市、ルカそしてピサ（ピサの斜塔）

16/ 世界的ワインの生産地トスカナ地方を抜け シエナへ、パリオ祭の真っ最中でイタリア中で一番過激に盛り上がっていました。人々はまず間違いなくフィレンツェより人間性の豊かな宗教的な程よい規律のある神聖な地であるように感じました。

17/ シエナ市内 聖カトリナ教会及び生家へ、カンポ広場 そして

サンタマリアデラスカラ病院（いくつもの奇跡をおこした聖カテリナが実際に働いていた病院）ミセルコルディア診療所（あらゆるしがらみからはなれ、すべての人間を分け隔てなく、全く差別から程遠い診療を展開する若いドクターを中心としたボランティア集団です）

18/ イタリア在住の青年とシエナめぐり、日本人女性のソムリエの対応をみて感激、われわれの思うところを瞬時に余すところなく感じ取り、最適な料理でもてなしてくださいました。神がかり的でした。値段、美味しさ、量の加減、個人に合わせた的確なワインの選択、、、日本では知らない、初めての経験でした。

19/ フィレンツェへもどり 帰国

のちほど、院内に掲示する予定です。ご期待ください。

まだ暑い日が続いています。🐱 今月担当
体調管理を十分に♡ 院長です。

